

書籍仕入れご担当者 様【ジャンル/現代史・太平洋戦争】

◎戦場での生き方を驚異的な記憶力で見えさせた漂流記です!!

FAX: 092-726-9886

戦場の漂流者 千二百分の一の二等兵

稲垣尚友〔著〕半田正夫〔語り〕

四六判・208頁

【2月下旬刊】

定価1800円+税

ISBN 978-4-86329-222-2 C0021

生還への強い意志はどこから湧いてくるのか。

◆目次から◆

- I わたしは学校が嫌いです
大牟田生まれの与論育ち
強運の始まり
- II 人間の運ちゃんあ、わからんもんですよ
フィリピンへ
とうとう最後の三人になった
- III それでも人一倍元気やった
ルソン島上陸
腹痛の特効薬は歯磨き粉
- IV 空の飯盒を抱えて離さない死にゆく兵
ポケットの中のゴミが重い
イゴロット族から食糧徴発
- V えらい国に還って来た
収容所ではビニールに驚く
桁違いの機動力

戦場での生き方と戦後の生き方を変えながら、た人のユーモアあふれるもの語りです!!

太平洋戦争末期(1944)のフィリピンとその周辺海域、その苛酷な戦場を漂流するように生き抜いてきた二等兵(最下層兵)が語る命がけの青春彷徨。

半田正夫(はんだ・まさお)

1922年、福岡県大牟田生まれ。鹿児島県与論島で育ち、1944年出征。フィリピン・ルソン島で敗戦、捕虜収容所をへて帰国。1949年、鹿児島県十島村に渡り、開拓農家の世話役、村会議員を歴任。2014年没。享年92。

どのような苛酷な状況にあっても、その状況に応じて、自らの思考と判断力を駆使して戦場を漂流せねばならなかった兵士の生き方の中に、日本近代の矛盾を見る。

快人二人——語り手と聞き手との間には (前山光則)

〈著者の横顔〉稲垣尚友 (いながき・なおとも) 1942年生まれ。トカラ諸島(臥蛇島、平島)での暮らしをへて、現在、竹細工職人。著書に『密林のなかの書齋——琉球弧北端の島の日常』『十七年目のトカラ・平島』(以上、臬社)、『山羊と芋耐』『悲しきトカラ』(以上、未来社)、『青春彷徨』(福音館)、『日琉境界の島 臥蛇島の手当金制度』(CD版本 NJS 出版)、『灘渡る古層の響き——平島放送速記録を読む』(みずのわ出版)、『臥蛇島金銭入出帳』(ボン工房)などがある。

【FAX: 092-726-9886】

地小出版 流通センター 芳版 取扱品	冊	戦場の漂流者 千二百分の一の二等兵	稲垣尚友 定価 1800円+税 ISBN 978-4-86329-222-2
	冊	戦地巡歴 わが祖父の声を聴く	井上佳子 定価 2200円+税 ISBN 978-4-86329-176-8
冊	占領と引揚げの肖像BEPPEU 1945~1956	下川正晴 定価 2200円+税 ISBN 978-4-86329-203-1	
ご担当者様	ご注文日 様 [/]	弦書房 —Genshobo—	〒810-0041 福岡市中央区大名2-2-43 ELK大名ビル301 TEL:092-726-9885 FAX:092-726-9886 URL http://genshobo.com/ e-mail books@genshobo.com